

やまなし産業大賞受賞企業の功績

○「ものづくり大賞部門」

【大賞】 1件

(株)コイケ(昭和町)

応募テーマ：大口径タンタル酸リチウムウェーハの開発

応募内容：スマートフォンやタブレットPCなどで高周波の電気信号を処理するために使用されるSAWデバイス(信号を分別したり、特定の周波数の信号だけを通過させるフィルタ等の用途に用いる素子)の素材であるタンタル酸リチウムやニオブ酸リチウムのウェーハについて、結晶から薄く大口径のウェーハを製造する一連の技術

(受賞理由)

- ・他社がマネすることのできない、結晶の製造や加工などの技術的総合力が高く評価できること。
- ・酸化物単結晶(タンタル酸リチウム)ウェーハで世界トップシェアを占有しており、NO.1メーカーとして安定した供給と研究開発に努めていること。
- ・世界の中で、競争力のある企業であり続けるための仕組みを経営と技術の両面で確立していること。

【優秀賞】 2件

(株)メイコー(甲斐市)

応募テーマ：フラットコイルによる共振型RFプラズマソース

応募内容：半導体の製造工程で使用されるエッチングやアッシング(レジスト除去)、表面処理、ドライクリーニング等のプロセスに使用されるプラズマ発生装置について、効率が高く密度が高いプラズマを発生させることができ、放電可能な圧力範囲とパワー範囲が非常に広いプラズマ発生源を開発・製造していること。

(受賞理由)

- ・相当規模のプラズマを比較的安価に生成できることは、半導体製造工程や表面処理だけではなく、ニーズとのマッチング次第で、様々な分野での応用が期待でき、今後大きなマーケットへの展開が期待できること。
- ・知的財産権を確保しており、市場の中で優位性のある技術と考えられること。

(株)マルアイ(市川三郷町)

応募テーマ：カーボンナノチューブ(CNT)導電性塗料を印刷して作成された導電性シート

応募内容：静電気から電子部品を守ることを目的とした、カーボンナノチューブ(CNT)を分散させた導電性塗料の開発と、これを印刷して作成される導電性・透明性に優れたCNT導電性シートの製造

(受賞理由)

- ・競争は激化しているものの、本分野に関する産業の規模・市場の規模は格段に広く、将来性が期待できること。
- ・カーボンナノチューブを液中で均一に分散させる技術により、付加価値の高い高度なものづくりに転換していること。

【審査委員奨励賞】 1件

三洋機工（株）（南アルプス市）

応募テーマ：ナノファイバー不織布“CellBase®”

応募内容：高分子材料に炭酸ガスレーザーを照射し、溶融させ、極細化（ $\phi 0.8\mu\text{m}$ ）した繊維を不織布化する装置。化学溶剤を一切使用せずにポリ乳酸やポリグリコール酸、ポリエチレンテレフタレートなど多様な材料を使用することが可能。

（受賞理由）

- ・技術としてまだ未知数のところがあるものの、抗感染症試験や軟骨細胞培養試験など医療機器や再生医療分野への適用について研究開発中であり、将来への期待が大きいこと。

○「経営品質大賞部門」

【大賞】 1件

(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ (甲府市)

企業概要： Jリーグ・ヴァンフォーレ甲府運営会社

活動概要： Jリーグの基本理念を体現する「地域貢献」の徹底により、トップのリーダシップのもと組織一丸となって債務超過によるクラブ存続の危機を克服する活動を行なった。具体的には、大規模スポンサーに頼らない地域のスポンサー獲得、地元メディアへの露出や選手の地域活動への積極的な参加による観客動員数の増加など。

(受賞理由)

- ・経営再建を果たした独自の経営方式（『甲府方式』）が構築されていること。『甲府方式』は、国内・国外のサッカーチームの運営の範となっていること。
- ・福祉施設への訪問や子ども向けのサッカー教室の開催など積極的な地域貢献活動により地域からの強い支持を得ていること。
- ・ファン、スポンサー企業、支援者（出資者）との強い信頼関係が醸成されていること。

【優秀賞】 2件

特定非営利活動法人えがおつなげて (北杜市)

企業概要： サービス業（農業体験の場を提供）

活動概要： 県外企業（三菱地所グループ、博報堂等）の人材育成、CSR（企業の社会的な責任）活動等の場として農業体験の場を提供し、耕作放棄地解消の課題に事業として取り組んでいる。また、自らの活動をもとに農村資源を活用した事業に意欲的な方を対象にセミナーや研修会等を積極的に開催している。

(受賞理由)

- ・「都市と農村双方の課題を解決して持続可能な社会を実現する」という組織目標が明確化されているとともに、目標実現に向けた活動体制が構築されていること。
- ・幅広く外部情報を収集することにより顧客の要望や期待が把握されており、それを組織活動に展開していること。

長谷川醸造 (株) (南アルプス市)

企業概要： 食品製造業（梅干しなど）

事業概要： 特産品である「甲州小梅」を活用した梅干しを主力製品として全国に販売し、好評を得ている。原材料は地元農家約300軒から生梅を仕入れ、特産農産物振興と地元農家育成の一翼を担っている。さらに、規格外の生梅を農家から高く買い取ることを目指し、国の支援を活用して新製品開発に取り組んでいる。

(受賞理由)

- ・『会社は社員のもの、会社は地域に必要とされるもの』という理念に基づき、地元農家への利益還元（小梅の高価買い取り）を実践し、地域農家と良好な信頼関係が築かれていること。

- ・大手スーパー、生協、コンビニ等納入条件の厳しい販売先との取引に積極的に取り組むことで、課題を洗い出しそれに対応することで、安全衛生面、管理面等のレベルを向上させていること。

【審査委員奨励賞】 1件

(株)はくばく(富士川町)

企業概要： 食品製造業（麦、雑穀など）

事業概要： 「穀物」の美味しさ、楽しさ、意外性などにより消費者の心を動かすことを基本理念として、社員個々の目標と目標達成のためのプロセスを明確に全社一丸で改革に取り組んでいる。

(受賞理由)

- ・数値目標及び目標達成に向けた手段を明確にし、社員の意識改革と全体最適の組織活動への取り組みを実践していること。